

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20年 6月 5日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4070000890		
法人名	特定非営利活動法人いやしのさと		
事業所名	グループホーム いやしのさと		
所在地	福岡県京都郡みやこ町国分1396番地 〒824-0123 (電話) 0930-33-2000		
評価機関名	社会福祉法人 福岡市社会福祉協議会		
所在地	福岡市中央区荒戸3-3-39		
訪問調査日	平成20年6月2日	評価確定日	平成20年6月16日

## 【情報提供票より】(平成20年4月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14年 4月 1日			
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人	
職員数	18人 常勤	4人 非常勤	14人	常勤換算 7人

### (2) 建物概要

建物構造	軽量鉄骨造り 2階建ての～ 2階部分		
------	-----------------------	--	--

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	23,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無(一時金を含む)	有(円)	有の場合 償却の有無	有 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日あたり		1,300円程度	

### (4) 利用者の概要(3月1日現在)

登録人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	1名	要介護4	4名		
要介護5	2名				
要支援1	名		要支援2	名	
年齢	平均 88歳	最低	72歳	最高	99歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	山田医院・新田原聖母病院・歯歯科
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

緑あふれる山々を背景に自然環境に恵まれた住宅地に立地し、尊厳・福祉・社会貢献を理念に置いたNPO法人運営のグループホームである。人の命、価値観、生き方の尊厳を基本に入居者のそれまでの暮らしの継続を尊重し、入居者一人ひとりを尊重した対応や言葉かけを行い、その人らしい生活が支援されている。カンファレンスや月に1度の勉強会などが充実しており、職員同士の情報やお互いの気づきなど十分に共有され、日々のきめ細やかな個別ケアに生かされている。管理者、法人代表者も熱意を持って認知症ケアを行っており、日々の介護の中に、個人を重視した穏やかで、さりげない支援が徹底されている。開設から6年目を迎え、地域住民を対象とした公開講座の開催等を通じて、地域ともさらに交流を深められ、地域になくならないホームに成長されることを期待したい。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	<b>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</b> 前回の外部評価結果について、勉強会時や運営推進会議にて報告を行い、評価結果は全職員で検討が行われている。評価を受けて、記録についての勉強会や記録の書き方を職員間で統一するなど、具体的な改善の成果が見られ、サービスの質の向上に生かす取組みがある。
	<b>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</b> 今回の外部評価を受けるにあたり、全職員で自己評価の確認を行うなどの取組みがある。また、自己評価や外部評価の内容を重視し、項目を確認することで日常業務の見直しや質の向上に向けた今後の課題など、職員への気づきを生み出す結果につながっている。
重点項目	<b>運営推進協議会の主な検討内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</b> 老人会会長、民生委員、行政担当職員、家族等の参加のもとに2ヶ月毎に開催している。運営推進会議時に、ホームの現状報告や地域への行事案内についてホーム側から具体的な提案を行うなど、質の向上に向けての取組みがある。
重点項目	<b>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8,9)</b> 家族の訪問時の声かけやその都度の連絡が行われている。また、家族に利用料金の支払いを含めて月に1度は訪問していただき、ケア記録や写真を提示しながら、現在の状況やホーム行事の案内を行うなどの働きかけがある。また、2ヶ月毎の運営推進会議等でも意見や要望を出していただく機会を設けている。
重点項目	<b>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</b> 地域の催し物や敬老会外部研修等への参加、地域住民を対象とした月に1度の公開講座の開催、地域のボランティアの受入れなど、地域の人々の交流に努めている。また、地域の子供たちがホーム前庭の果物の収穫に訪問したり、自然な形で地域交流への取組みがある。

## 2. 調査報告(詳細)

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営					
1 理念の共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事業 所独自の理念をつくりあげている	開設当初から法人の理念として「いのち、生き方な どの尊厳」を基本とした理念を作り上げている。地域 密着型サービスになったことを受けて、理念の再検 討まではなされていないが、職員は常に地域との関 係づくりを意識しながら業務に携わっている。		地域密着型へ移行したことにより、地域密着型に 視点を置いた理念の再構築に職員と一緒に取組ん でほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の 実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念が掲示されており、自然と目に入る 工夫がある。月1回の勉強会において、入居者一人ひ とりについて理念を照らし合わせながら話し合うなど、 理念の浸透を図る取組みがある。		
2 地域との支え合い					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員と して、自治会、老人会、行事等、地域活 動に参加し、地元の人々と交流するこ とに努めている	地域の菖蒲祭りや敬老会等の行事への参加、月に 1度の「いのちの意味を考える集い」の公開講座の開 催、地域のボランティアの受入れなど、地域の人々 との交流に努めている。また、地域の子供たちなど がホーム前庭の果物の収穫に訪問するなど、自然な形 での地域交流への取組みがある。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及 び外部評価を実施する意義を理解し、評 価を活かして具体的な改善に取り組んで いる	前回の外部評価を受けて職員間で協議し、記録に ついての勉強や職員間で記録の書き方を統一するな ど、具体的な改善が見られた。今回の受審にあたり、 管理者が自己評価を行い、全職員で確認を行うな ど、質の向上に向けた取組みがある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	老人会長、民生委員、行政担当職員、地区の代表者、家族等の参加により、2ヶ月毎に運営推進会議が開催されている。運営推進会議時に外部評価結果報告や現状についての報告、検討を行うなど、運営推進会議を活かした取組みがある。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議に行政担当職員の参加があり、ホーム内の見学を行うなど、行政担当者との連携が図られている。また、月に1回介護相談員が訪問し、入居者とのかかわりがみられるなど、行政との連携を図る取組みがある。		
7 追加	10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	行政が行う研修に参加したり、月に1度の勉強会で職員に説明を行うなど、積極的な理解への取組みがある。また、制度に関する資料を全家族へ配布し、説明を行うなどの情報提供が行われている。		全職員が日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)や成年後見制度について理解を深めることができるよう取り組んでほしい。また、運営推進会議等を利用して、広く情報を発信し、積極的、かつ繰り返しの制度説明を行ってほしい。
4 理念を実践するための体制					
8 (7)	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問時や月1度の支払い時など、介護記録や写真を提示して、毎日の暮らしぶりやホーム行事等の報告を行っている。ホーム便りの発行を通じ、入居者の状況や認知症の理解を促したり、ホーム行事等の案内を知らせるなど、さまざまな内容について伝えるなどの取組みがある。		
9 (8)	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	長年の家族とのかかわりを通じて家族が直接、意見や苦情が言いやすい雰囲気づくりへの工夫がある。また、運営推進会議時や家族の訪問時の説明、必要に応じての電話連絡等を通じて、家族の思いや意見などの把握、表出に努めている。		
10 (9)	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の職員異動時は、新職員に数ヶ月前から入居者とのコミュニケーションをとってもらい、入居者一人ひとりの関係が徐々に馴染んでいくように、引継ぎや馴染みの関係性を維持する取組みがある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5 人材の育成と支援					
11	19 追加	<p>人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している</p>	<p>職員の採用に関して、年齢や性別等による制限はなく、やる気や資質の適性を重視しての採用である。絵を描くことを得意とする職員へポスターを描いてもらうなど、職員の経験や特技に配慮した対応がある。また、外部研修や資格取得への研修に対しては、勤務ローテーションの調整を行うなどの支援体制がある。</p>		
12	20 追加	<p>人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる</p>	<p>毎月ホームで行われる公開講座への参加を通じて職員への人権教育や啓発への取り組みがある。また、ホーム便りで人権問題を取り上げ、職員や家族、地域住民への配布するなど、法人全体で啓発活動に取り組んでいる。</p>		
13 (10)	21 (19)	<p>職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加を募ったり、職員の経験や能力を考慮した上で参加を促すなど、外部研修への参加に配慮している。また、月に1回の勉強会で受講報告会を行うなどの取り組みがある。</p>		
14 (11)	22 (20)	<p>同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会での研修や交流会、他ホームとの情報交換が行われ、ホーム内においては徘徊ネットワークについての検討がみられるなど、質の向上に向けた取り組みがある。</p>		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15 (12)	28 (26)	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にホームに来ていただき、ホーム見学や法人内のデイサービス利用によって、徐々に馴染みながら入居に至るなど、入居者や職員との馴染みの関係づくりへの取り組みがある。		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16 (13)	29 (27)	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	野菜の皮むきなどの料理の下ごしらえ、季節の食材への親しみなど、日常のかかわりの中で自然と学び支えあう関係づくりへの取り組みがある。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1 一人ひとりの把握					
17 (14)	35 (33)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者との日々のかかわりの中から、入居者一人ひとりの希望や意向の把握に努め、家族の面会時や運営推進会議などを通じ、家族の意向などの把握に努めている。また、介護記録や会議等で情報を共有し、職員全員で話し合いながら、意向や希望を確認するなどの取り組みがある。		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18 (15)	38 (36)	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	入居時に作成した介護計画案で、職員が毎日のケアプラン内容をチェックし、月1度のカンファレンス時に他の職員の気づきを聞き、管理者、職員を交えて検討・協議を行い、入居者一人ひとりに応じた介護計画を作成している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19 (16)	39 (37)	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行う とともに、見直し以前に対応できない変 化が生じた場合は、本人、家族、必要な 関係者と話し合い、現状に即した新たな 計画を作成している	月1回のカンファレンス時のプラン内容の検討と評 価、3ヵ月毎のADLチェック、状況の変化による、その 都度の評価と見直しにより、プランの再作成が行われ ている。また、6ヶ月に1度、入居者・家族の意向や希 望の確認を行い、プランの見直しや再作成を行うなど の取り組みがある。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
20 (17)	41 (39)	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に 応じて、事業所の多機能性を活かした柔 軟な支援をしている	地域住民の認知症の相談に対応したり、医療連携 体制を生かしたホーム協力医の連携や通院介助、在 宅酸素を使用しながらのホーム生活の継続への支援 など、柔軟に対応している。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21 (18)	45 (43)	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医療を受けられ るように支援している	契約時にかかりつけ医の継続と協力医療機関の利 用について相談し、本人・家族の意向に沿って支援し ている。また、ホームとしての協力医もあり、24時間い つでも対応可能である。かかりつけ医への受診につ いて家族対応が困難な場合は、ホームにて支援する などの取り組みがある。		
22 (19)	49 (47)	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方につ いて、できるだけ早い段階から本人や家 族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し 話し合い、全員で方針を共有している	契約時にホームとしての重度化や看取りについて の方針についてホーム協力医から直接説明をしていた だき、家族等の意向も確認したうえで同意を得てい る。状況の変化に伴い、本人・家族・主治医等を交え てその都度協議し、方針を共有するなどの取り組みが ある。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23 (20)	52 (50)	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損 ねるような言葉かけや対応、記録等の個 人情報の取り扱いをしていない	理念でもある尊厳を大切に入居者に接し、入居者の 視線に合わせた声かけや対応がなされており、入居 者が和やかな雰囲気でご過ごされるなど、プライバシー に配慮した対応が見受けられた。		入居期間が長くなっている中、日々のかかわりの なかで見落としがちなプライバシーを損ねない対応 や言葉づかいについて、勉強会などで理解を深め、 職員の気づきや意識を喚起する更なる取組みを期 待します。
24 (21)	54 (52)	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切に し、その日をどのように過ごしたいか、 希望にそって支援している	日々の過ごし方、食事のペース、食後の過ごし方、 排泄への対応など、日常生活全般においてその日 その時の入居者のペースを尊重した対応が見られた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25 (22)	56 (54)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利用 者と職員と一緒に準備や食事、片付けを している	職員と入居者は一緒に食事を取り、和やかに食 事ができる雰囲気であった。ホームで栽培した野菜類を 活用し、野菜の皮むきや豆のすじとりなどの下ごしら え、下膳など、入居者一人ひとりの状況によって、出 来る事にかかわっていただくような取組みがある。		
26 (23)	59 (57)	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてし まわずに、一人ひとりの希望やタイミ ングに合わせて、入浴を楽しめるよう に支援している	入浴は隔日の午前中から夕方近くまで可能である。 基本は隔日であるが、入居者の状況に応じて柔軟に 対応している。入浴にかかる時間など、本人の希望に 沿ったケアが実施されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27 (24)	61 (59)	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせる ように、一人ひとりの生活歴や力を活か した役割、楽しみごと、気晴らしの支援 をしている	料理の下ごしらえ、下膳、食後の後片づけなど、入 居者の出来ることや生活歴などを把握した上での支 援がある。		
28 (25)	63 (61)	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひ とりのその日の希望にそって、戸外に出 かけられるよう支援している	日常的な散歩や買い物、ホーム前庭にての日光 浴、花見や地域の菖蒲祭り見学など、入居者の状況 や天候等にに合わせて、できるだけ戸外に出かけられ るよう支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29 (26)	68 (66)	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中 玄関に鍵をかけることの弊害を理解して おり、鍵をかけないケアに取り組んでい る	ホーム玄関出入り口は開錠している。職員は入居 者の様子を細かく観察・見守りを行い、さりげなく声 をかけたたり、一緒に出かける等の入居者の自由な暮ら しを支える支援と安全面への配慮がある。		
30 (27)	73 (71)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜 を問わず利用者が避難できる方法を身につ け、日ごろより地域の人々の協力を得 られるよう働きかけている	年に2回のホーム独自の避難訓練、消防署の指導 による避難経路の確認や消火器の点検、使い方など の訓練が行われている。また、日々の地域との交流 を通じ、地域の協力体制を得るための働きかけがあ る。		運営推進会議時のお願いや、地域住民の参加協 力を得ての避難訓練など、非常災害時に地域の協 力が得られるよう更なる働きかけを期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31 (28)	79 (77)	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をしてい る	メニューは入居者の希望を取り入れ、栄養のバラ ンスを考慮しながら作成し、定期的にカロリー計算をお こなっている。また、毎日の食事摂取量と水分摂取量 のチェックを行い、水分摂取については、必要に応じ て頻回に水分補給を促すなどの支援がある。		



外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32 (29)	83 (81)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台 所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者 にとって不快な音や光がないように配慮 し、生活感や季節感を採り入れて、居心 地よく過ごせるような工夫をしている	リビングや廊下に季節感を感じる飾りつけをほどこ したり、テーブルの上には季節の生花が飾られるな ど、季節を肌で感じられる工夫が見られた。リビング 内は程よく採光されており、自然の風が流れ、心地よ い空間となっている。		
33 (30)	85 (83)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたものや 好みのもを活かして、本人が居心地よ く過ごせるような工夫をしている	居室には、タンスや机、鏡台、写真などの馴染みの ものや使い慣れた物が持ち込まれており、安心して居 心地良く過ごせるための居室作りの工夫や配慮が見 られた。		

 は、重点項目。  
(数字)は、国の標準例による番号